

## デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証について

内閣府から交付を受けて、令和5年度に事業に取り組んだデジタル田園都市国家構想交付金事業のKPI（重要業績評価指標）の達成状況は以下のとおりです。

## 1 KPI（重要業績評価指標）の達成状況について

## デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業

（単位：円）

年度	交付金実績額	KPI 設定数	KPI 達成数	KPI 未達成数	KPI 未確定数
令和元年度採択分	9,907,000	2	1	1	0
令和3年度採択分	24,371,105	7	5	1	1
令和4年度採択分	122,326,611	12	4	5	3
令和5年度採択分	64,537,901	21	13	6	2
合計	221,142,617	42	23	13	6

※詳細は、参考資料2のとおり。

## 2 地方創生関連交付金事業の主な効果

## (1) 【事業2】若者と共に創る、若者に選ばれる高等教育機関、企業・地域の魅力向上事業

県内企業におけるテレワークの導入の取組に係る支援の実施およびテレワークの導入に積極的な企業と導入をサポートする企業等が交流し、ノウハウを学び、マッチングする機会を設定した結果、多様な就労形態を導入している県内事業所の増加率が目標の0.8%を上回る1.3%でした。

## (2) 【事業3】次代につなぐ新たな三重の農林水産業の推進

アウトドア活動を通じて農山漁村地域を盛り上げてくれる人材の育成や農山漁村地域の魅力を広く発信した結果、農山漁村の交流人口が目標の3.0万人を上回る4.6万人でした。

## (3) 【事業11】プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業

プロフェッショナル人材戦略拠点の運営や地域金融機関、中小企業支援機関等と連携し、地域の中小企業に対して「攻めの経営」や経営改善の実践をサポートした結果、プロフェッショナル人材戦略拠点と企業とのマッチング成約件数が目標の60件を上回る80件でした。

### 3 地方創生関連交付金事業の主な課題

#### (1) 【事業2】若者と共に創る、若者に選ばれる高等教育機関・企業・地域の魅力向上事業

県内高等教育機関卒業生の県内就職割合の増加目標を1.0%としたところ、県内高等教育機関の入学定員の7割を超える4年生大学においては、県外からの入学者数が半数を占める中、働く場としての県内企業の魅力を十分に伝えることができなかつたことなどから、1.0%の減少となりました。若者の就職に対する考え方や企業の求人の方法など、就職活動に係る情勢の変化が生じている中、県内定着を促進するため、県内就職者の増加をめざす県内高等教育機関が行う、魅力向上につながる取組を支援していく必要があります。

#### (2) 【事業5】消費拡大と気候変動に対応したみえの農林水産推進事業

伊勢茶新商品開発数及び多様なシーンでの伊勢茶の活用数の目標を6件としたところ、5件にとどまりました。累計では目標を達成していますが、今後は茶業関係機関だけではなく、飲食事業等の他業種機関と連携し、これまで以上に幅広く事業の周知に取り組むことで、より多くの事業者からの応募を促す必要があります。

#### (3) 【事業7】県南部地域の課題解決に向けた人口減少対策事業

南部地域の若者の定住率における本県推計からの改善値を1.87%としたところ、働く場が少ないこと等をはじめとした様々な要因により、若者の定住率の減少に歯止めがかからなかつたため、0.03%の減少となりました。一朝一夕には解決できない要因もあるものの、本事業を通して、地域だからこそできる様々なことにチャレンジをしている人材同士の連携の強化や情報発信に取り組み、その活動を根付かせることで地域の活力を高めるとともに、若者が実際に地域を訪れ、そうした人びとと交流する機会の提供等の取組を進め、地域で働き、暮らすことの魅力の発信に一層努める必要があります。

#### (4) 【事業9】みえの農林水産業経営安定化事業

県産水産物フェア開催量販店における県産水産物の販売金額の増加目標を200百万円としたところ、黒潮の大蛇行による水温の上昇などの影響により県産天然魚介類の漁獲量が予想以上に減少し、大規模なフェアに必要な物量の確保が難しかったことなどから、目標額を下回る1.7百万円の実績となりました。黒潮の大蛇行が継続しており、今後も県産天然魚介類の確保が困難となることが予想されるため、小規模なフェアを複数回開催することで、認知度の向上を図り、販売チャンネルの構築を推進する必要があります。

### 4 今後の取組方向について

三重県地方創生検証会議等での効果検証の結果を踏まえて、今後のデジタル田園都市国家構想交付金事業の実施に生かしていきます。